

上出来 *BEST* 8



工種作成(積算データ 及びツリー活用方法)



【目次】

| | | |
|-------------|-------|-----------|
| 1. 概要 | | (1 - 2) |
| 2. 工種ツリーの編集 | | (3 - 12) |
| ▪積算データ活用編 | | |
| ・工種体系ツリー活用編 | | |
| 3. 写真管理 | | (13 - 14) |
| 4. 出来形管理 | | (15 - 17) |
| 5. 施工計画書作成 | | (18 - 25) |
| 6. 文書管理 | | (26 - 30) |

1. 概要

・各社積算システムから出力されたデータを利用し、施工管理基準の絞り込みや、材料・労務・機械・工事概要などデータ（数値）の利用が可能です。



各システムへの連携

写真管理：工種体系ツリーの取込。

出来形管理：管理基準の絞り込みによる工種追加。

工程管理：工種ツリーの作成及び予算データ反映。

現場日報：工種ツリーの作成及び予算データ反映。

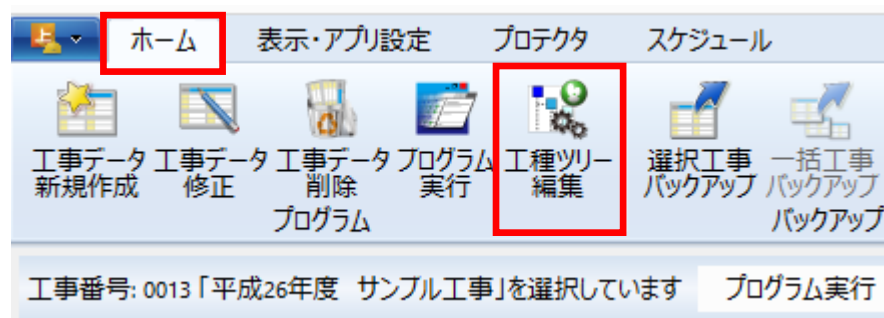
文書管理：積算データを帳票（工事情報・主要機械・資材・施工管理基準等）に反映。

施工計画書作成：積算データを対応帳票に反映。（反映内容は文書管理同様）

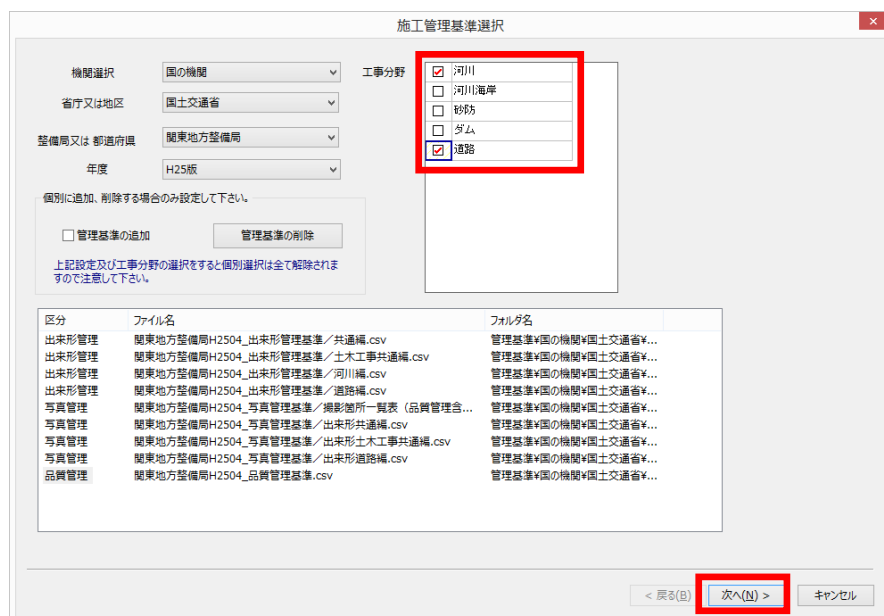
Co2排出管理：工種ツリーの作成及び機械・燃料データ反映。

2. 工種ツリーの編集

「工種ツリー編集」から施工管理基準等を抜粋・積算データ等の活用をします。

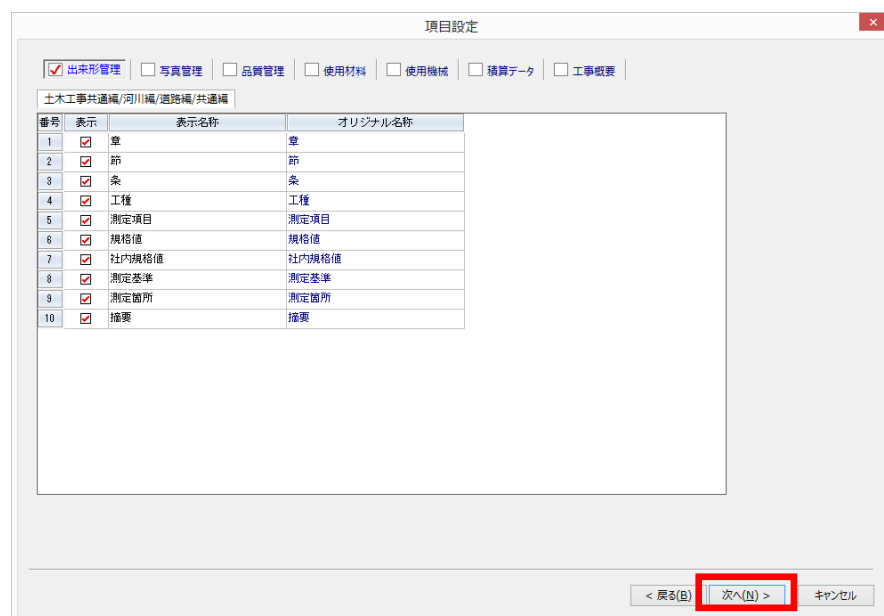


「工種ツリー編集」を選択



施工管理基準選択画面上、工事に必要な「工事分野」にチェックをいれ、次へ。

→河川分野又は道路分野等



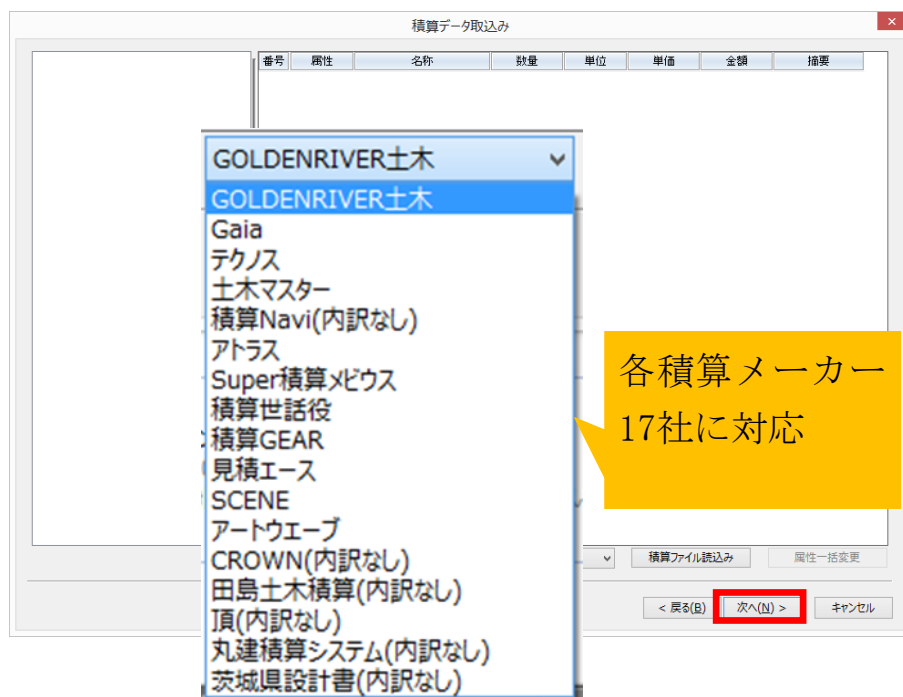
項目設定を確認後次へ。。

2. 工種ツリーの編集

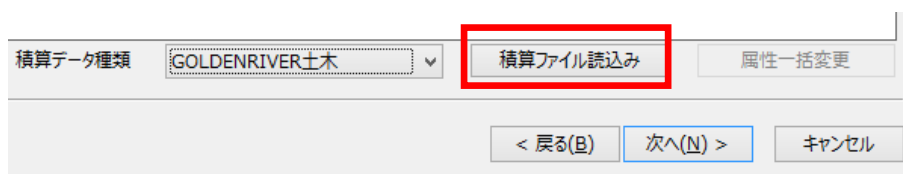
【積算データの活用編】 1 / 5



「積算データからの取込作成」を選択後、次へ。



「積算データ種類」から積算ソフトの種類を選択。



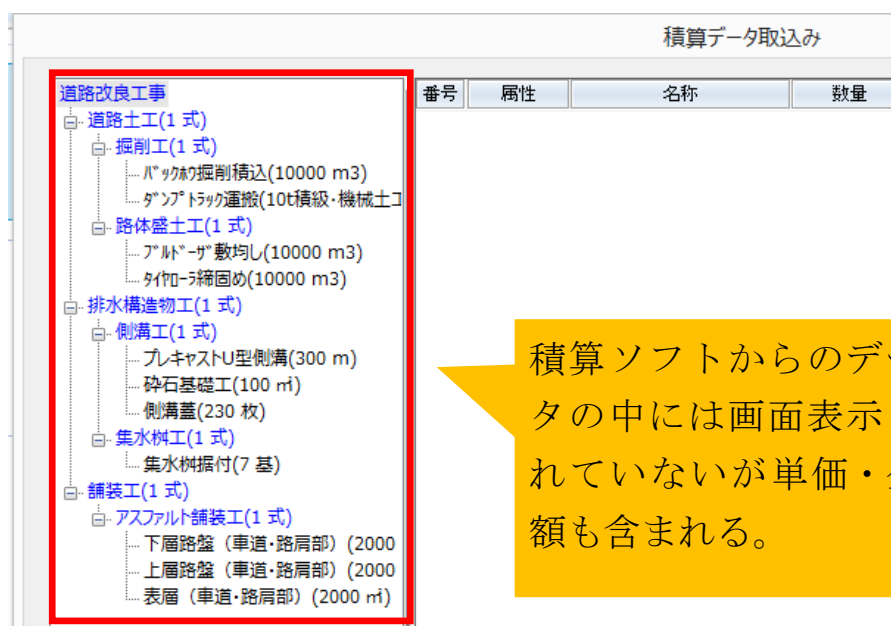
「積算ファイル取込み」選択。

2. 工種ツリーの編集

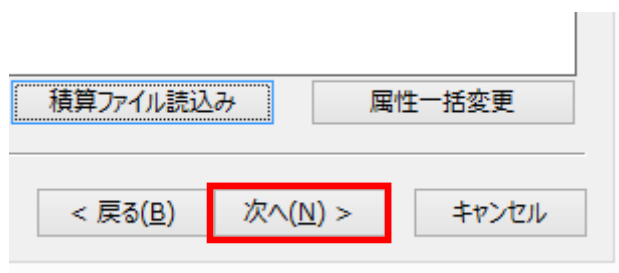
【積算データの活用編】 2 / 5



「積算ソフトから出力されたデータ」を選択後、「開く」を選択。



画面左側に「積算ソフト」から取り込まれた工種・種別・細別・数量・単位が表示され「積算データ」の取込が完了。



「次へ」を選択。

※「積算ソフト」の出力形式・内容により、材料・労務・機械の種類毎にデータが取り込まれる。

2. 工種ツリーの編集

【積算データの活用編】 3 / 5

一括更新

取り込みしない使用材料 | 取り込みしない使用機械 | 写真管理に追加する工程

| 番号 | 名称 |
|----|----|
| 1 | |

半角カナ文字を全角に変換する。

使用機械

使用機械は数量、単位を1台に設定する。

出来形管理

社内規格値を設定する。

規格値の % で設定する。

(注意) 内容により%設定できない場合もあります。

出来形管理 写真管理 品質管理

使用材料 使用機械 工事概要

工事概要

工程レベル指定

使用材料

工程レベル指定

使用機械

工程レベル指定

< 戻る(B) 完了 キャンセル

社内規格値の設定

「一括更新」画面から各設定を確認。

→「社内規格値」が設定できる。(一部条件により反映しない規格有り)

工事概要

工程レベル指定

使用材料

工程レベル指定

使用機械

工程レベル指定

施工計画書への「工事概要」
「仕様材料」「使用機械」毎に
取込レベル設定が可能。

< 戻る(B) **完了** キャンセル

上記設定・確認が完了後・「完了」選択。

2. 工種ツリーの編集

【積算データの活用編】 4 / 5

積算ソフトからの取込
ツリー表示

施工管理基準の積算ソフト
データからの抽出完了表示

| 番号 | 章 | 節 | 条 | 工程 | 測定項目 | 規格値 | 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 |
|----|------|-------|-----------|-------------|---|--|--|--|------|
| 1 | 土工 | 道路土工 | 掘削工 | | 基準高 ▽ 法長 l 幅 w | ±50 l<5m -200 l≥5m 法長-4% | ±40 l<5m -200 l≥5m 法長-4% | | |
| 2 | 土工 | 道路土工 | 路体盛土工 | | 基準高 ▽ 法長 l 幅 w1,w2 | ±50 l<5m -100 l≥5m 法長-2% | ±40 l<5m -100 l≥5m 法長-2% | | |
| 3 | 一般施工 | 共通の工程 | 側溝工 | プレキャストU型側溝工 | 基準高 ▽ 延長 L | ±30 -200 | ±24 -160 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合)は50mにつき1箇所、延長40m(又は350m)以下のものは1施工箇所につき2箇所 | |
| 4 | 一般施工 | 基礎工 | 一般事項 | 砕石基礎工 | 厚さ t1,t2 延長 L | 設計値以上 ※各種建造物の規格個による | 設計値以上 -24 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合)は50mにつき1箇所、延長40m(又は350m)以下のものは1施工箇所につき2箇所 | |
| 5 | 一般施工 | 共通の工程 | 集水構工 | | 基準高 ▽ 厚さ t1,t2,t3,t4,t5 幅 w1,w2 高さ h1,h2 | ±30 -20 -30 -30 | ±24 -16 -24 -24 | 1箇所毎 厚さ、幅、高さは、現場打部分のある場合 | |
| 6 | 一般施工 | 一般舗装工 | アスファルト舗装工 | 下層路盤工 | 基準高 ▽ 厚さ 幅 | 個々の測定値 中規模以上 ±40 小規模以下 ±50 個々の測定値 中規模以上 -45 小規模以下 -45 10個の測定値の平均 中規模以上 -15 小規模以下 -15 個々の測定値 中規模以上 -50 小規模以下 -50 個々の測定値 中規模以上 -25 小規模以下 -25 | 個々の測定値 中規模以上 ±40 小規模以下 ±50 個々の測定値 中規模以上 -45 小規模以下 -45 10個の測定値の平均 中規模以上 -15 小規模以下 -15 個々の測定値 中規模以上 -50 小規模以下 -50 個々の測定値 中規模以上 -25 小規模以下 -25 | 基準高は延長40m毎に1箇所の測点とし、道路中心線および端部で測定。厚さは各車線300mm毎に1箇所を掘り取り配合物の総使用量が、3,000t以上の場合は該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模が小さいものを、管理 | |



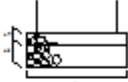

- 道路改良工事
 - 道路土工(1式)
 - 掘削工(1式)**
 - バックホウ掘削積込(10000 m3)
 - ダンプトラック運搬(10t積級・機械土工)(10000 m3)
 - 路体盛土工(1式)
 - ブルドーザ敷均し(10000 m3)
 - タイヤローラ締固め(10000 m3)

積算ソフトから取り込まれたデータツリーを確認すると、黒色と青色の2色で表示されます。黒色表示は、右側の施工管理基準とリンクされています。黒色表示のツリー上の文字を選択すると該当する施工管理基準にカーソルが自動的に移動します。




| 番号 | 章 | 節 | 条 | 工程 |
|----|----|------|-------|----|
| 1 | 土工 | 道路土工 | 掘削工 | |
| 2 | 土工 | 道路土工 | 路体盛土工 | |

2. 工種ツリーの編集

【積算データの活用編】 5 / 5

| 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 |
|--------------|--|---|
| ±24 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 |  |
| -160 | 1箇所/1施工箇所 |  |
| 設計値以上 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 |  |
| ※各構造物の規格値による | | |
| ±24 | | |
| -16 | 1箇所毎 |  |
| -24 | 厚さ、幅、高さは、現場打部分のある場合 | |
| -24 | | |

「測定基準」等、現場に合わせた内容の編集は、選択後ダブルクリックで編集モードになります。

| 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 |
|--------------|--|---|
| ±24 | 施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 |  |
| -160 | 1箇所/1施工箇所 |  |
| 設計値以上 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 |  |
| ※各構造物の規格値による | | |

例えば、現場の施工延長に合わせて測定基準欄を修正。

当初予算

▼ 取付け
▼ 表編集
▼ 表描画
管理基準
✖ 終了
ヘルプ

名称

数量 単位 日標準量

備考

「終了」ボタンを選択。

確認

❓ データを保存してよろしいですか？

はい(Y)
いいえ(N)
キャンセル

データ保存メッセージ「はい」を選択し、編集を保存反映致します。

2. 工種ツリーの編集

【工種体系ツリーの活用編】 1 / 4

積算データからの取込み作成

工種体系ツリーからの作成

「工種体系ツリーからの作成」を選択後、「次へ」。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

機関選択 工事工種体系

省庁又は地区

整備局又は 都道府県

年度

省庁又は地区 国土交通省

整備局又は 都道府県 本省

年度 H25 (10月) 版

現場に合わせた「省庁又は地区」「整備局又は都道府県」「年度」をプルダウンメニューより選択。

工事分野

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 河川改修 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 河川維持・修繕 |
| <input type="checkbox"/> | 海岸整備 |
| <input type="checkbox"/> | 砂防・地すべり対策 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 道路新設・改築 |
| <input type="checkbox"/> | 共同溝・電線共同溝 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 道路維持・修繕 |

現場に合わせた「工事分野」にチェックを入れ、「次へ」。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

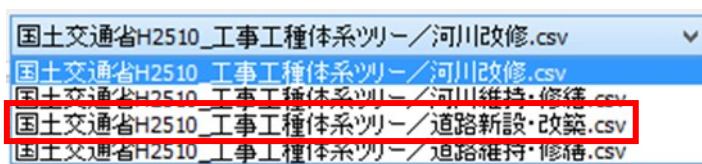
2. 工種ツリーの編集

【工種体系ツリーの活用編】 2 / 4

| 番号 | 区分 | 名称 | 数量 | 単位 | 日標準量 | 備考 |
|----|----|----|----|----|------|----|
| 1 | 費目 | | | | | |

| 名称 | 数量 | 単位 |
|------|----|----|
| 本工事費 | 1 | 式 |

「工種体系からの作成」の画面から1行目の「名称」「数量」及び「単位」を入力後、「参照」ボタンを選択。



管理基準最下部の「工事分野」選択メニューより現場に即した分野を選択。

- 道路改良
 - 道路土工
 - 掘削工
 - 掘削
 - 土砂等運搬
 - 河床等掘削
 - 軟弱土等運搬
 - 整地
 - 転石破碎
 - 押土(レーズ)
 - 積込(レーズ)
 - 人力積込
 - 路体盛土工
 - 路体(築堤)盛土
 - 土砂等運搬
 - 整地
 - 押土(レーズ)
 - 積込(レーズ)
 - 人力積込
 - 土材料

該当する「工種」「種別」「細別」にチェックを付ける。

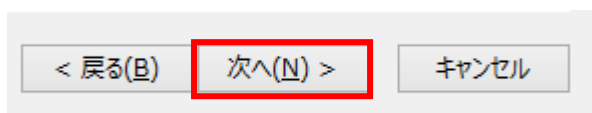
メニューバーの「最終行からの追加」を選択後、「閉じる」。

2. 工種ツリーの編集

【工種体系ツリーの活用編】 3 / 4

| 番号 | 区分 | 名称 | 数量 | 単位 | 日標準量 |
|----|----|----------|----|-----|------|
| 1 | 費目 | 本工事費 | | 1 式 | |
| 2 | 工種 | 道路土工 | | 1 式 | |
| 3 | 種別 | 掘削工 | | 1 式 | |
| 4 | 細別 | 掘削 | | | |
| 5 | 種別 | 路体盛土工 | | 1 式 | |
| 6 | 細別 | 路体(築堤)盛土 | | | |
| 7 | 細別 | 土砂等運搬 | | | |
| 8 | 種別 | 路床盛土工 | | 1 式 | |
| 9 | 細別 | 路床盛土 | | | |
| 10 | 細別 | 整地 | | | |

「工種体系からの作成」の画面にチェックを入れた「区分」「名称」及び「数量」「単位」が反映。



「次へ」を選択。

一括更新

取り込みしない使用材料 | 取り込みしない使用機械 | 写真管理に追加する工程

| 番号 | 名称 |
|----|----|
| 1 | |

半角カナ文字を全角に変換する。

使用機械

使用機械は数量、単位を1台に設定する。

出来形管理

社内規格値を設定する。

規格値の 80 % で設定する。

(注意) 内容により%設定できない場合があります。

出来形管理 写真管理 品質管理

使用材料 使用機械 工事概要

工事概要

工程レベル指定: 種別

使用材料

工程レベル指定: 種別

使用機械

工程レベル指定: 種別

< 戻る(B) 完了 キャンセル

「一括更新」画面から各設定を確認。

→「社内規格値」が設定できる。(一部条件により反映しない規格有り)

細別

< 戻る(B) 完了 キャンセル

上記設定・確認が完了後「完了」選択。

2. 工種ツリーの編集

【工種体系ツリーの活用編】 4 / 4



「工種体系からの作成」の画面にチェックを入れた「区分」「名称」及び「数量」「単位」が反映。

→体系ツリーと施工管理基準の

| 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 |
|-------|---|------|
| ±24 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合1は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。 | |
| -160 | 1箇所/1施工箇所 | |
| 設計値以上 | 施工延長40m(測点間隔25mの場合1は5 | |

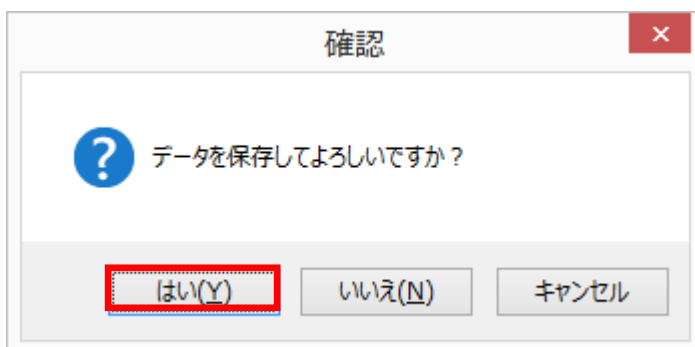
「測定基準」等、現場に合わせた内容の編集は、選択後ダブルクリックで編集モードになります。

| 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 |
|-------|---------------------------------------|------|
| ±24 | 施工延長40mにつき1箇所、延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 | |
| -160 | 1箇所/1施工箇所 | |

例えば、現場の施工延長に合わせて測定基準欄を修正。



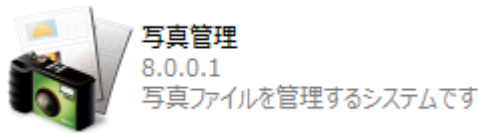
「終了」ボタンを選択。



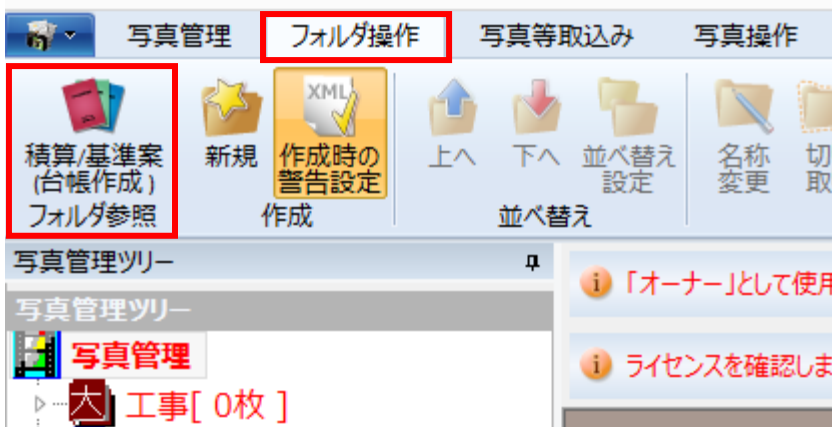
データ保存メッセージ「はい」を選択し、編集を保存反映致します。

3. 写真管理

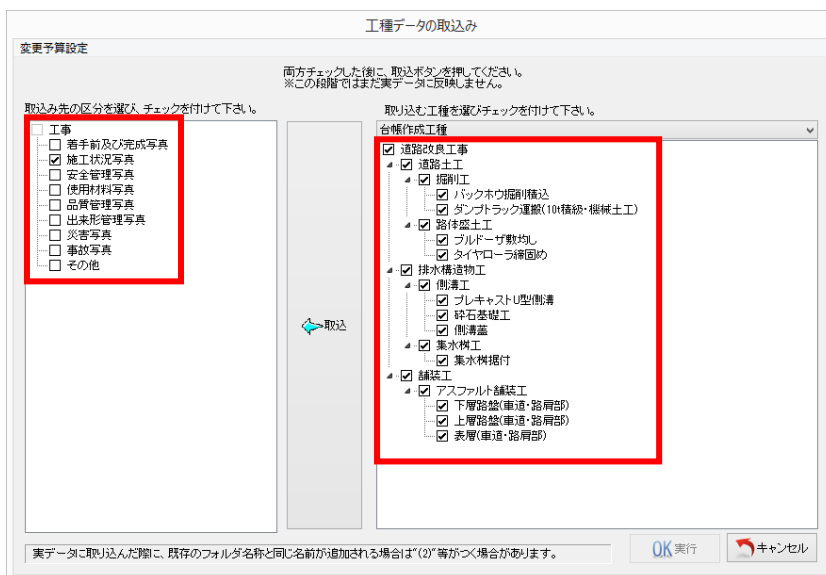
【工種ツリーの活用編】 1 / 2



「写真管理」を起動します。



メニューバー「フォルダ操作」の「積算/基準案(台帳作成)」を選択。



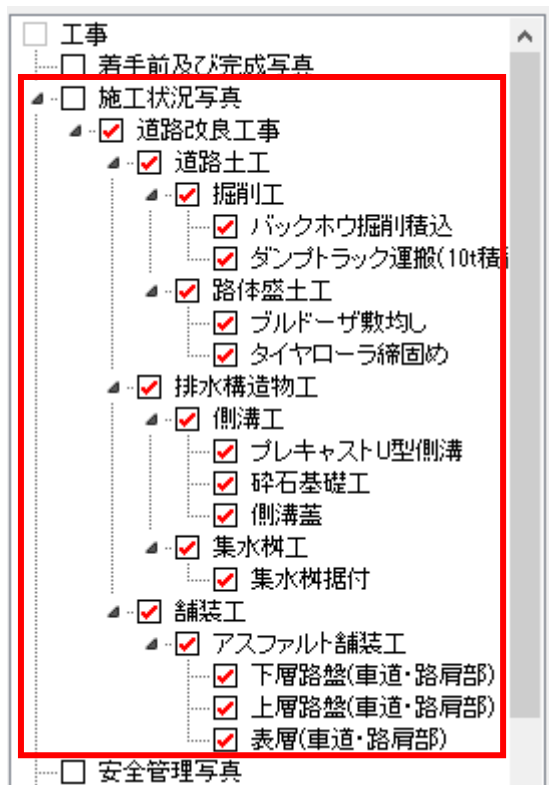
「工種データの取込み」左側の取込先工事区分へチェックを入れ、「台帳作成工種」の必要項目へチェックを入れる。



画面中央の「取込」ボタンを選択。

3. 写真管理

【工種ツリーの活用編】 2 / 2

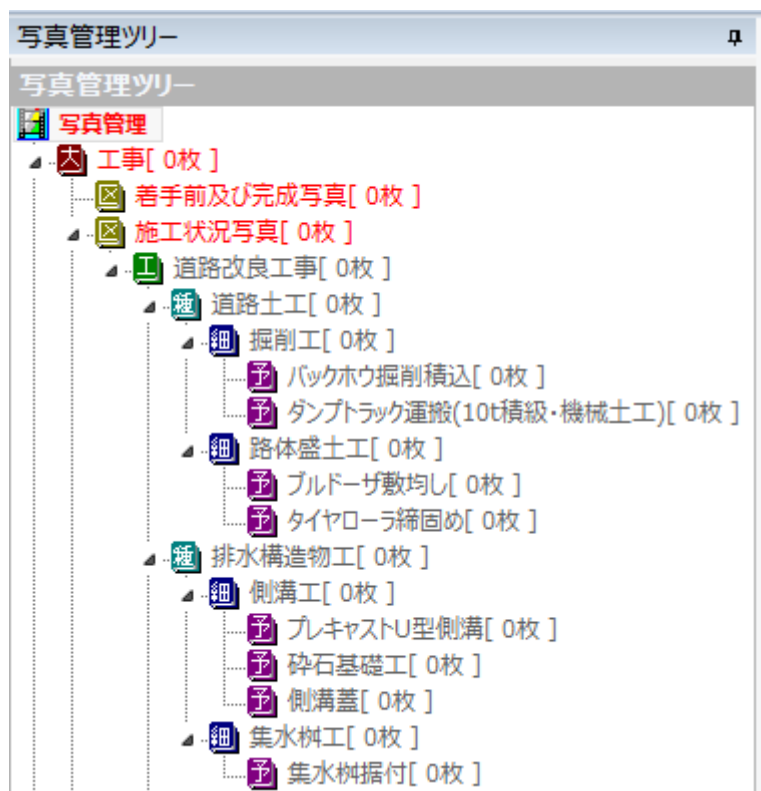


「取込」後の確認。

赤色でチェックマーク入りのツリーを確認。



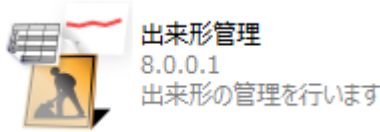
「OK」ボタンを選択し反映。



「一覧」表示左側ツリーに設定した工種体系ツリーを確認し反映完了。

4. 出来形管理

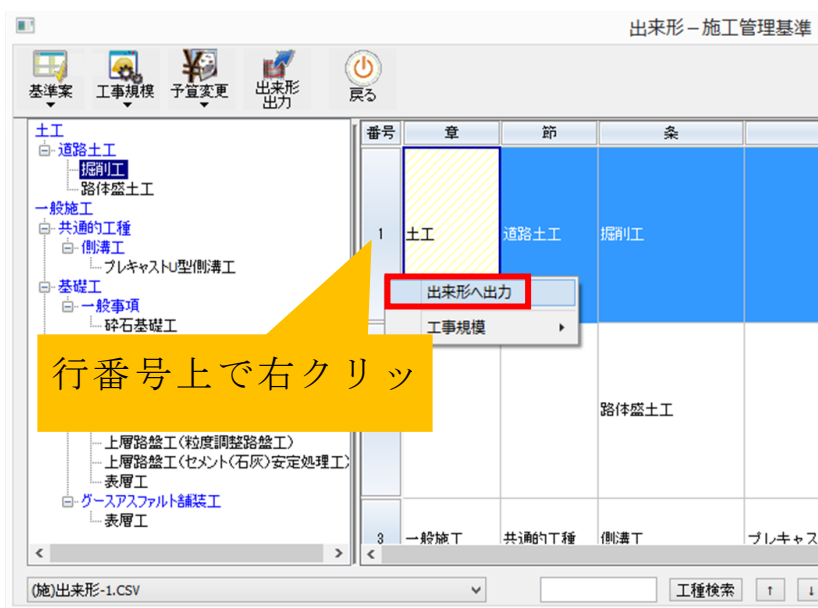
【工種ツリーの活用編】 1 / 3



「出来形管理」を起動します。



メニューバー「一覧表」の「管理基準取込み」を選択。



作成した結果表の「行番号」上で右クリックし、「出来形へ出力」を選択。



「戻る」を選択。

4. 出来形管理

【工種ツリーの活用編】 2 / 3

一新覧表

新規作成 修正 削除 一覧更新 タイトル 複写 工事名 再設定 表示切替 管理基準 取込み 計測データ 読み込み バックアップ 入出力 データ 取込 メール 送信 一覧画面を 常に表示 表示 終了 ヘルプ その他

タイトル一覧

0001 / 土工 道路土工 掘削工

結果表名称: 掘削工
現場代理人: 個利手句一
測定者: 個利手句一

縮小画面で表示

タイトル

結果表名称 掘削工

工事名 平成26年度 サンプル工事

請負者 コリンズテクリス・サンプル建設JV

主任技術者 三附留三

工事業所

出張所

監督官 発注 太郎

タイトル一覧

機能選択

一覧表

「タイトル一覧」下部に配置されている「機能選択」を選択。

機能選択

機能選択

タイトル一覧

タイトル入力

略図作成

規格入力

通常規格

複合入力

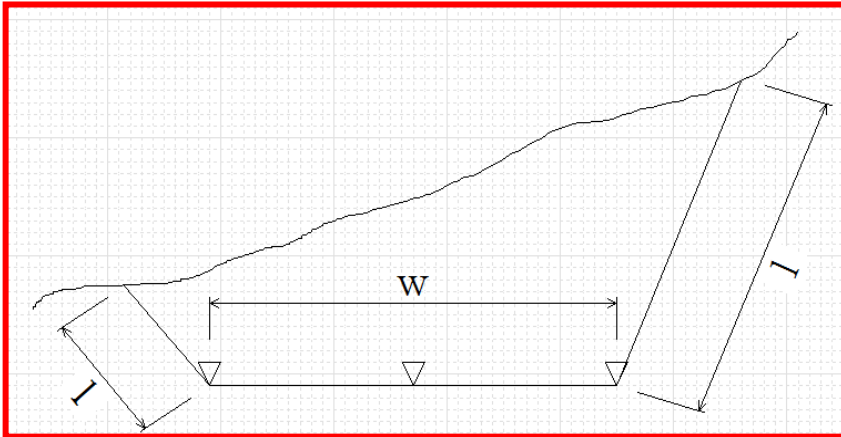
複合 (茨城)

データ入力

「略図」ボタンを選択。

4. 出来形管理

【工種ツリーの活用編】 3 / 3



「略図」の表示確認。
→管理基準側の格納データを取り込みます。



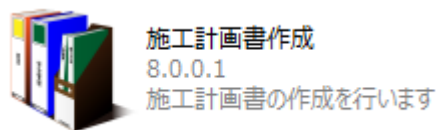
「規格入力」「通常規格」を選択。

| 番号 | 規格名称 | 規格記号 | 差単位 | 規格値 | | 管理基準値 | | 社内規格値 | | 設計 実測 入力単位 | 条 件 | +表記 | 差の計算 |
|----|------|------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------|-----|-----|-------|
| | | | | 下限値 | 上限値 | 下限値 | 上限値 | 下限値 | 上限値 | | | | |
| 1 | 基準高 | ▽ | mm | -50 | +50 | | | -40 | +40 | m | なし | しない | 実測-設計 |
| 2 | 法長 | l | mm | | | | | | | m | あり | しない | 実測-設計 |
| 3 | 幅 | w | mm | -100 | | | | -80 | | m | なし | しない | 実測-設計 |

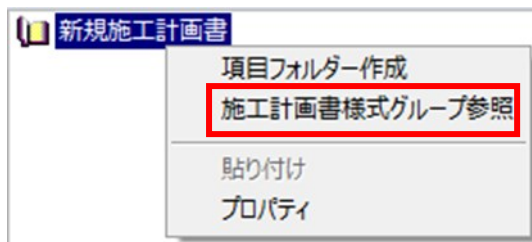
「規格名称」「記号」「規格値」
「社内規格値」の項目内容を確認し、設定データの反映を確認。

5. 施工計画書作成

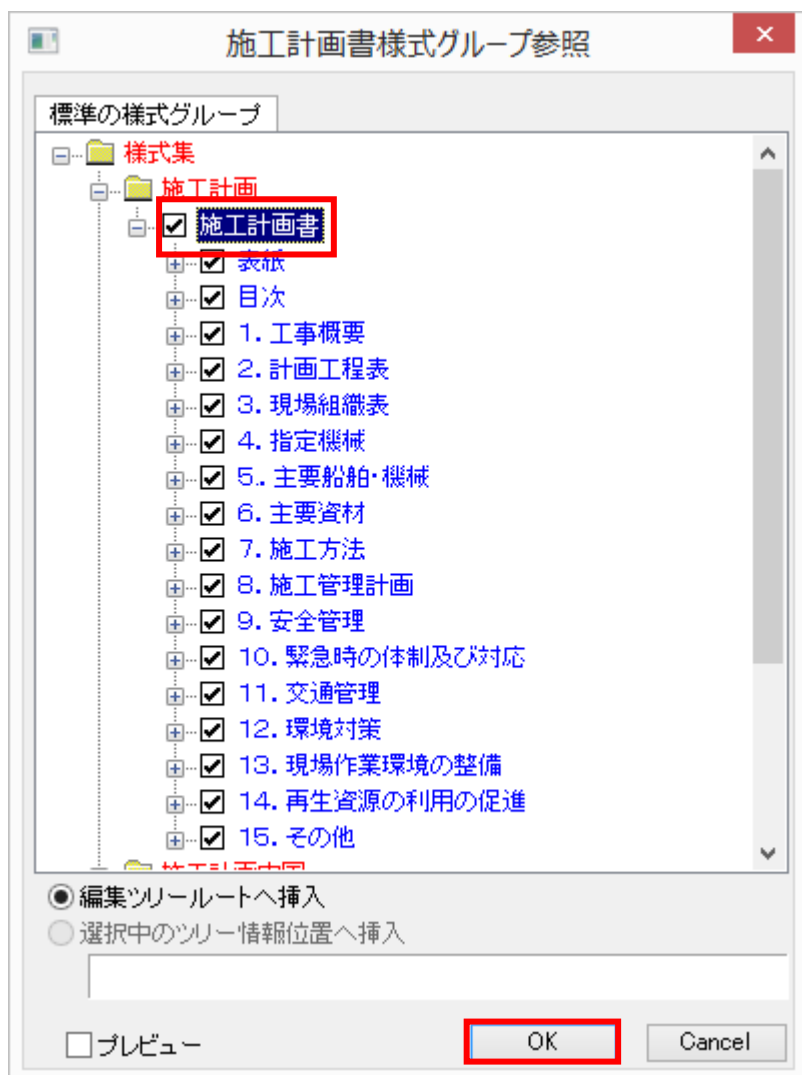
【工種ツリーの活用編】 1 / 8



「施工計画書」を起動します。



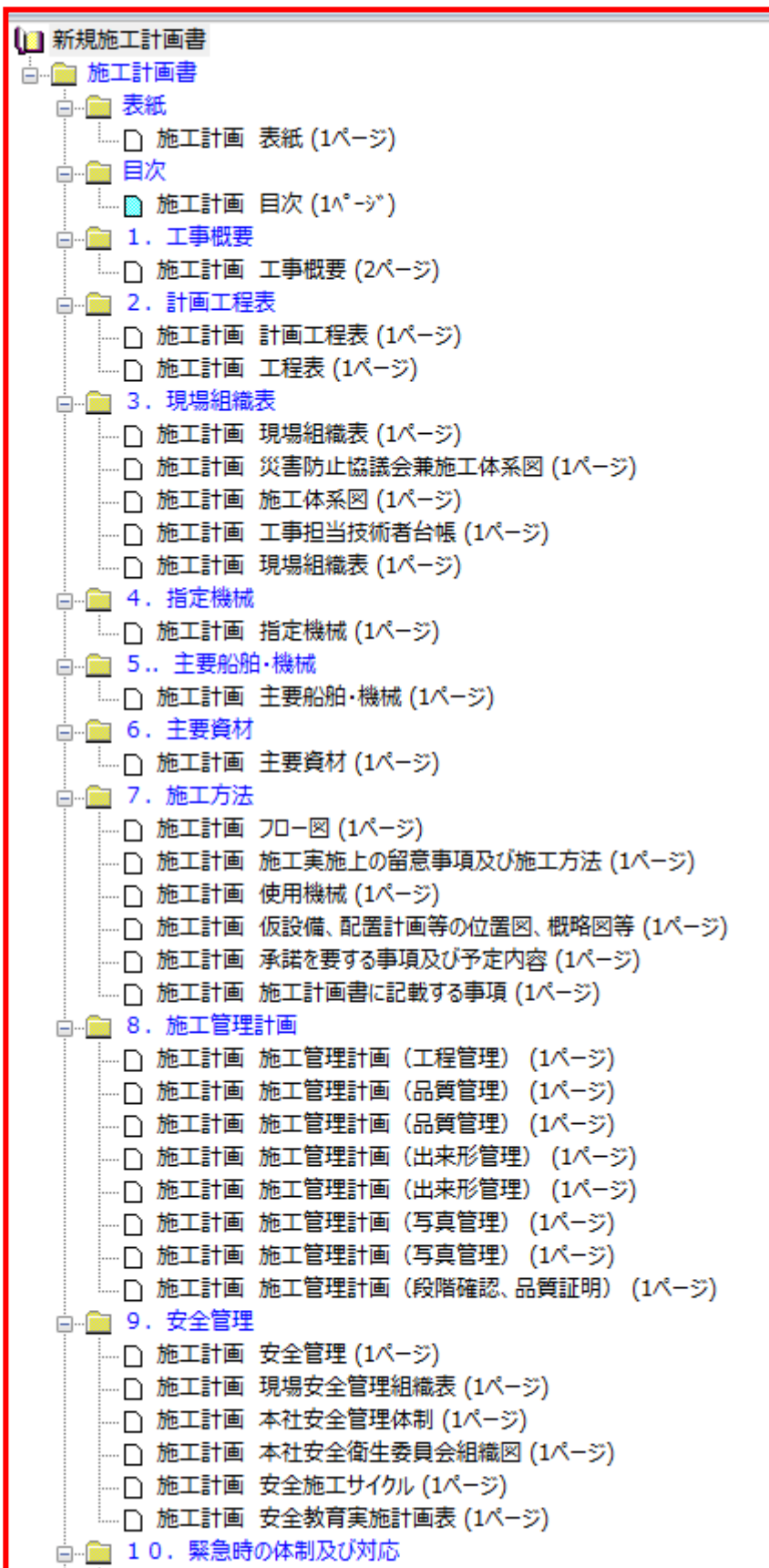
「新規施工計画書」の上で右クリック後、「施工計画書様式グループ参照」を選択。



「施工計画書」へチェックを入れて「OK」で取り込む。

5. 施工計画書作成

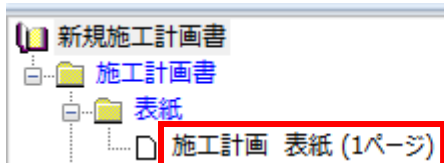
【工種ツリーの活用編】 2 / 8



取り込んだ「施工計画書」を画面左側で確認。

5. 施工計画書作成

【工種ツリーの活用編】 3 / 8



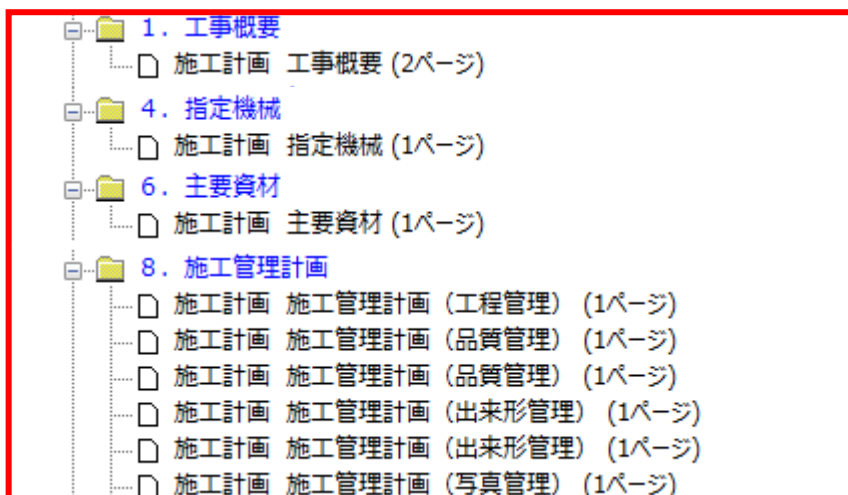
取込後、「表紙」確認。

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| <h2>施 工 計 画 書</h2> | | |
| 平成 26 年度 | | |
| 工 事 名 | 平成26年度 サンプル工事 | |
| 工 事 場 所 | | |
| 年 | 月 | 日 |
| 工事施工者 | コリンズテクリス・サンプル建設JV | |
| 現場代理人 | 個利手句一 | |

左記のように、工事名・施工者名等が取り込んだ時点で反映されます。

→工事概要の他「現場組織表」「災害防止体系図」「施工体系図」等にデータが反映。

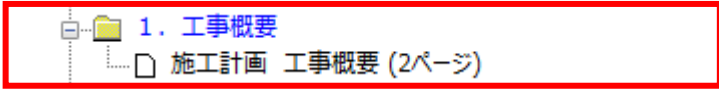
※各地区様式により反映箇所は異なります。



「工種体系ツリー」からのデータは反映項目は左記の通り。

5. 施工計画書作成

【工種ツリーの活用編】 4 / 8



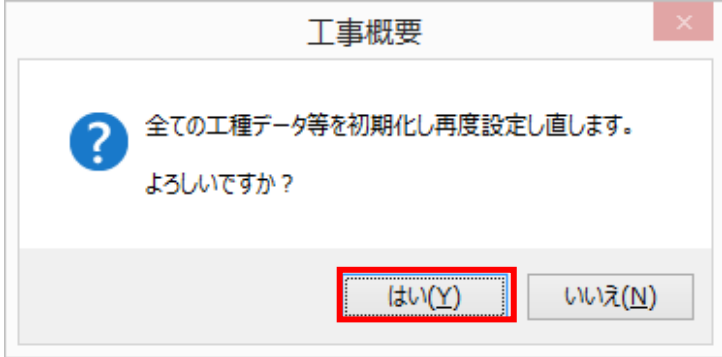
「工事概要」選択。

タイトル名称： 施工計画 工事概要

左記「タイトル名称」を選択し編集モードへ。



「読み込み」から「工事概要の読み込み」を選択。



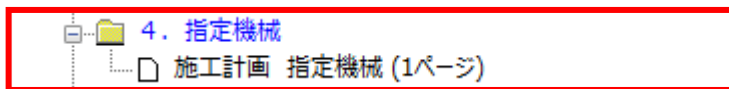
「はい」を選択。

| 工事内容 | | | | | | |
|--------|-----------|--------------|-----------------------|----------------|---|---------------------------------------|
| 工事区分 | 工種 | 種別 | 細別 | 単位 | 数量 | 摘要 |
| 道路改良工事 | 道路土工 | 掘削工 | バックホウ掘削積込 | m ³ | 10,000 | クローラ型山積0.8m(標準0.6m)掘削土・砂・砂質土・粘性土層等掘削し |
| | | | ダンプトラック運搬(10t積込・機械土工) | m ³ | 10,000 | バックホウ山積0.8m(標準0.6m)土砂/D10区間掘削2.0m以下 |
| | | 路体盛土工 | ブルドーザ敷均し | m ³ | 10,000 | 路体・築堤普通15t級/標準 |
| | | | タイヤローラ締固め | m ³ | 10,000 | 路体・築堤標準 |
| 排水構造工事 | 側溝工 | プレキャストU型側溝 | m | 300 | L=2000mm1000kg/個以下/据付(K9=1.00) | |
| | | 砕石基礎工 | m ² | 100 | 厚0.1mRC-40 | |
| | | 側溝蓋 | 枚 | 230 | コンクリート製・鋼製(450×450)以下/鋼製(450×450)以上/据付(450×450) | |
| 舗装工 | アスファルト舗装工 | 下層路盤(車道・路肩部) | m ² | 2,000 | t=35cmRC-40/下層路盤 | |
| | | 上層路盤(車道・路肩部) | m ² | 2,000 | t=20cmM-30/上層路盤 | |
| | | 表層(車道・路肩部) | m ² | 2,000 | 標準及改良層3.0m以下積込厚3cm/標準改良層3.0m以下積込厚3cm(20)プライムコート | |
| | | | | | | |

「工事内容」にデータが反映されます。

5. 施工計画書作成

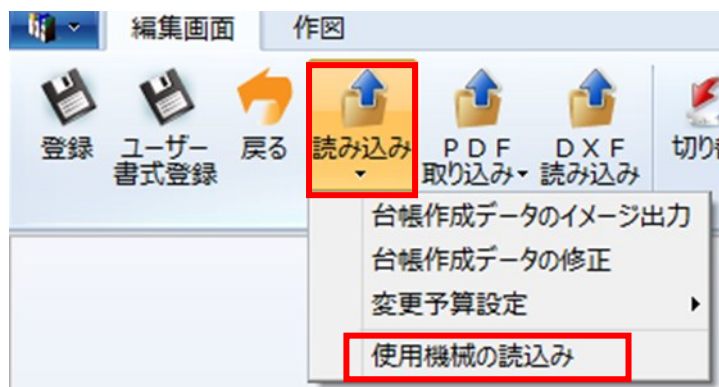
【工種ツリーの活用編】 5 / 8



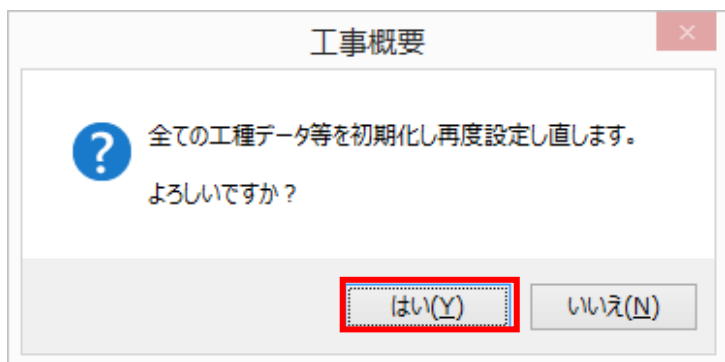
「指定機械」選択。

タイトル名称： 施工計画 指定機械

左記「タイトル名称」を選択し編集モードへ。



「読み込み」から「使用機械の読み込み」を選択。



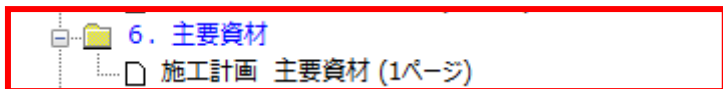
「はい」を選択。

| 機 械 名 | 規 格 | 台 数 | 使 用 工 種 | 備 考 |
|---------------|-------------------------------|-----|-----------------------|-----|
| バックホウ(クローラ型) | 標準山0.8m3平0.6m3排対2次 | 1 | バックホウ掘削積込 | |
| ダンプトラック | オンロード・ディーゼル10t積級 | 1 | ダンプトラック運搬(10t積級・機械土工) | |
| ダンプトラックタイヤ換装費 | 10t良好 | 1 | ダンプトラック運搬(10t積級・機械土工) | |
| ブルドーザ | 普通15t級13~18t排対1次 | 1 | ブルドーザ数均し | |
| バックホウ(クローラ型) | 標準・クレーン山0.45m3平0.35m32.9t排対1次 | 1 | 集水樹据付 | |
| タイヤローラ | 質量8~20t排対1次 | 1 | 下層路盤(車道・路肩部) | |
| モータグレーダ | ブレード幅3.1m排対1次 | 1 | 下層路盤(車道・路肩部) | |
| ロードローラ | マカダム質量10~12t締固め幅2.1m排対1次 | 1 | 下層路盤(車道・路肩部) | |
| タイヤローラ | 質量8~20t排対1次 | 1 | 上層路盤(車道・路肩部) | |
| モータグレーダ | ブレード幅3.1m排対1次 | 1 | 上層路盤(車道・路肩部) | |
| ロードローラ | マカダム質量10~12t締固め幅2.1m排対1次 | 1 | 上層路盤(車道・路肩部) | |
| アスファルトフィニッ | ホイール型舗装幅2.4~8.2m排対1次 | 1 | 表層(車道・路肩部) | |

「工種体系ツリー」からのデータは反映項目は左記の通り。

5. 施工計画書作成

【工種ツリーの活用編】 6 / 8



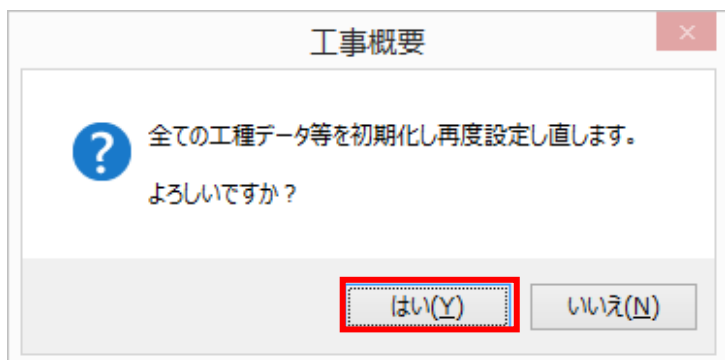
「主要資材」選択。

タイトル名称 : 施工計画 主要資材

左記「タイトル名称」を選択し編集モードへ。



「読み込み」から「使用材料」の読み込みを選択。



「はい」を選択。

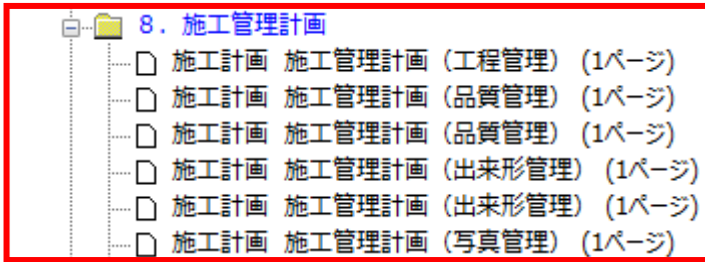
主要資材

| 品名 | 規格 | 数量 | 製造業者 |
|------------------------|----------------------------------|-------------|------|
| 軽油 | バトロール 軽油不燃ロ コリコ | 28513 | |
| 調整額 | | 1式 | |
| 軽油 | バトロール 軽油不燃ロ コリコ | 26.45 13 | |
| 再生クラッシュ チャーラン | 30-40 | 12m3 | |
| 調整額 | | 1式 | |
| 鉄筋コンクリ ート 鋼棒用ふ た | 道路用鋼棒ふ た1種D19412 X95X600mm | 230枚 | |

「工種体系ツリー」からのデータは反映項目は左記の通り。

5. 施工計画書作成

【工種ツリーの活用編】 7 / 8



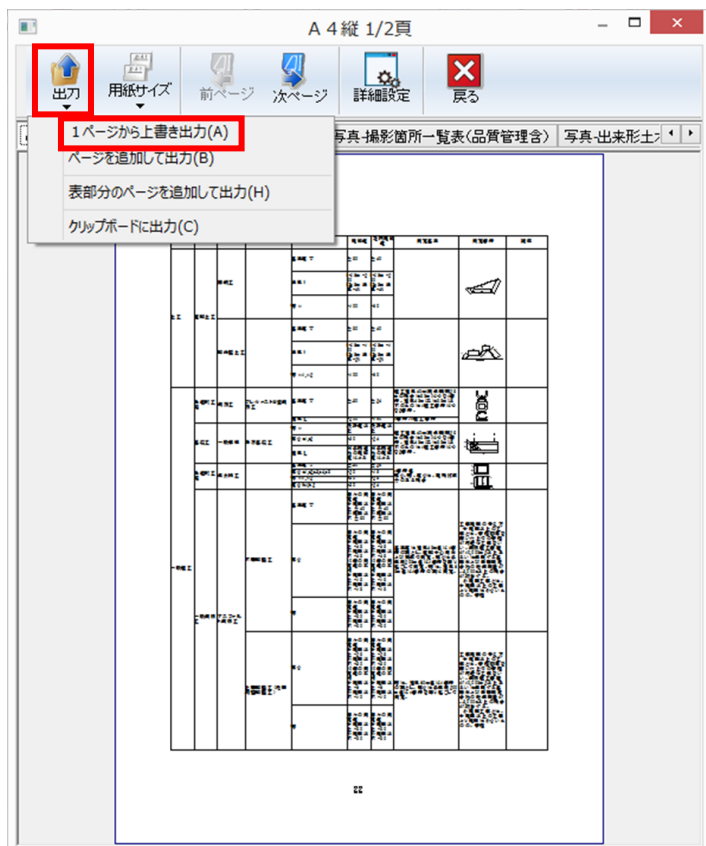
「施工管理計画」選択。

タイトル名称： 施工計画 施工管理計画 (出来形管理)

左記「タイトル名称」を選択し編集モードへ。



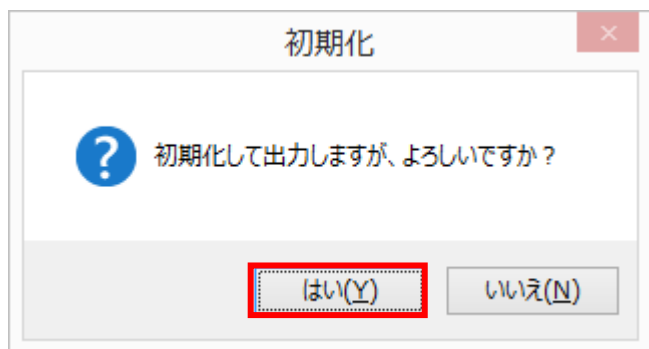
「読み込み」から「台帳作成データのイメージ出力」を選択。



「出力」→「1 ページから上書き出力」を選択。

5. 施工計画書作成

【工種ツリーの活用編】 8 / 8



「はい」を選択。



「OK」を選択。



「戻る」を選択。

施工管理計画

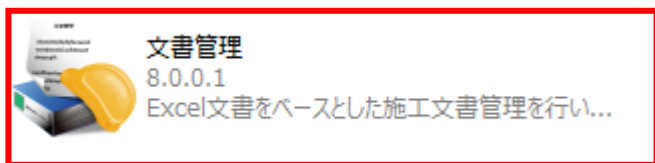
3) 出来形管理

| 業 | 種 | 名 | 工種 | 測定項目 | 規格値 | 社内規格値 | 測定基準 | 測定箇所 | 換算 | | |
|-------|-------|-------------|-------|---------|----------------------|----------------------|--|--|----|--|--|
| 土工 | 造路土工 | | | 基準高 ▽ | ±80 | ±40 | | | | | |
| | | | | 法長 l | <3m -2 30 法長-次 | <3m -2 30 法長-次 | | | | | |
| | | | | 幅 w | -100 | -80 | | | | | |
| | 路体盛土工 | | | 基準高 ▽ | ±80 | ±40 | | | | | |
| | | | | 法長 l | <3m -1 30 法長-次 | <3m -1 30 法長-次 | | | | | |
| | | | | 幅 w1w2 | -100 | -80 | | | | | |
| 共通の工種 | 側溝工 | プレキャストU型側溝工 | | 基準高 ▽ | ±30 | ±24 | 施工延長40m(測定間隔25mの場合約は50m)につき1箇所、延長40m又は50m以下のものは1施工箇所につき1箇所 | | | | |
| | | | | 延長 L | -200 | -180 | | | | | |
| | | | | 幅 w | 設計値以上 | 設計値以上 | | | | | |
| | 基礎工 | 一般基礎 | 砕石基礎工 | | 高さ H1H2 | ±30 | ±24 | 施工延長40m(測定間隔25mの場合約は50m)につき1箇所、延長40m又は50m以下のものは1施工箇所につき1箇所 | | | |
| | | | | | 延長 L | ※各測定物の規格値による | ※各測定物の規格値による | | | | |
| | | | | | 幅 w1w2 | -30 | -24 | | | | |
| 共通の工種 | 集水側工 | | | 基準高 ▽ | ±30 | ±24 | ※各測定物の規格値による | | | | |
| | | | | 高さ H1H2 | -20 | -18 | ※各測定物の規格値による | | | | |
| | | | | 幅 w1w2 | -30 | -24 | ※各測定物の規格値による | | | | |
| | 一般施工 | | 下層路盤工 | | 基準高 ▽ | ±30 | ±24 | ※各測定物の規格値による | | | |
| | | | | | 幅 w | 設計値以上 | 設計値以上 | | | | |
| | | | | | 延長 L | 設計値以上 | 設計値以上 | | | | |

「施工管理計画」の取り込まれた内容を確認。

6. 文書管理

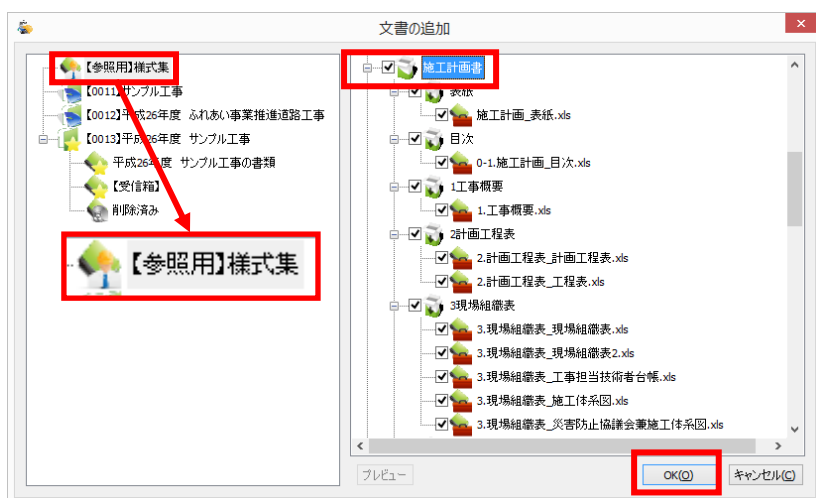
【工種ツリーの活用編】 1 / 5 既設施工計画の読込



「文書管理」を起動します。



「文書」→「文書の追加」を選択。



左側欄「参照用様式集」選択後右側欄「施工計画書」にチェックを入れ、「OK」を選択し、サンプル施工計画書を読み込みます。

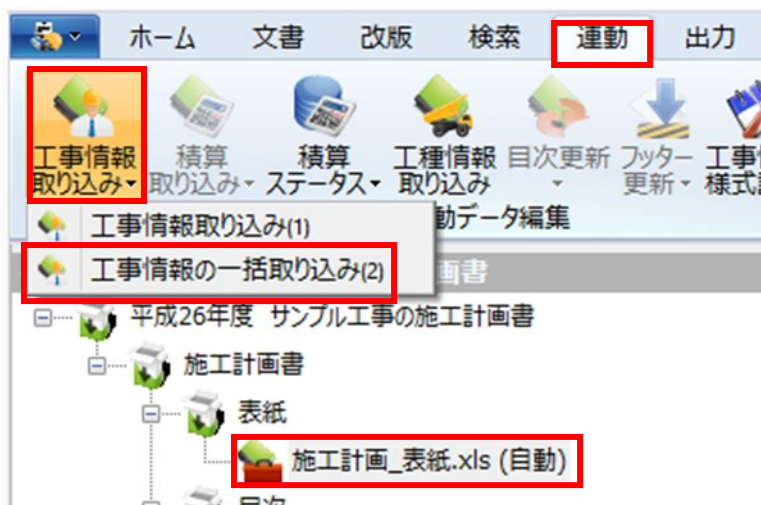
※Pマークの様式のご利用にはピースネットクラブへのご加入が必要です。



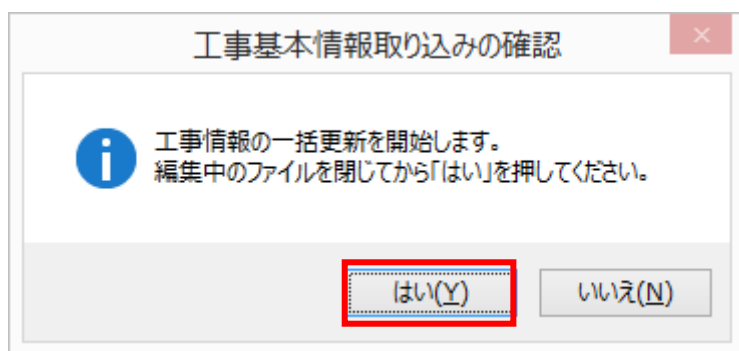
「施工計画書」の取り込み完了。

6. 文書管理

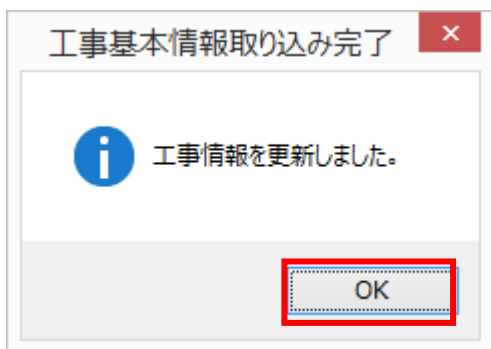
【工種ツリーの活用編】 2 / 5 工事情報の取込



「施工計画_表紙」を選択後、「連動」ボタンの「工事情報取込」の「工事情報の一括取り込み」を選択します。



「はい」を選択。



「OK」を選択。

平成26年度 サンプル工事

施工計画書

1 ページ

平成 年 月 日

コロンステクリス・サンプル建設J\

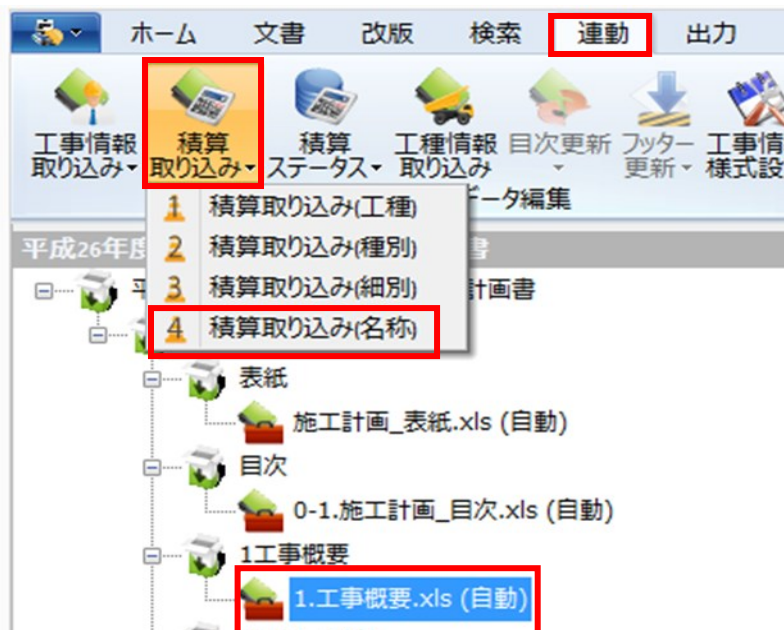
| | |
|------------|--------------------------|
| 1. 工事概要 | |
| 工事名 | 平成26年度 サンプル工事 |
| 河川名(又は路線名) | 一般国道999号 |
| 工事場所 | |
| 工期 | 平成26年5月1日 ~ 平成27年3月30日 |
| 諸負代金 | 円 |
| 発注者 | 国土交通省関東地方整備局 サンプル事務所 TEL |
| 諸負者 | コロンステクリス サンプル建設JV TEL |
| 所在地 | 東京都港区赤坂99-99-99 |
| 作業所 | 所在地 TEL |

1 ページ

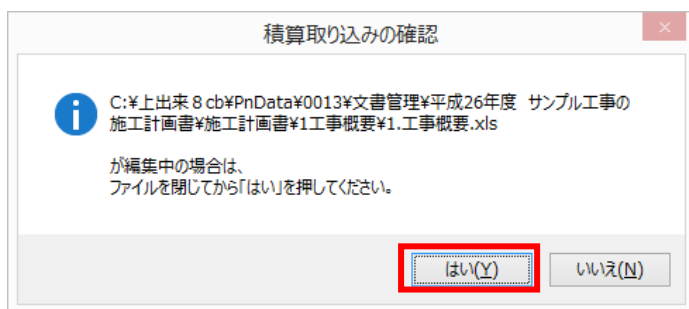
「表紙」「工事概要」「現場組織表」等に台帳で作成した「工事情報」が一括で反映。

6. 文書管理

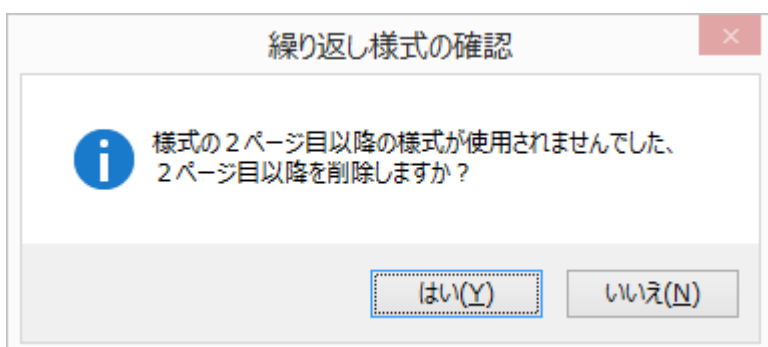
【工種ツリーの活用編】 3 / 5



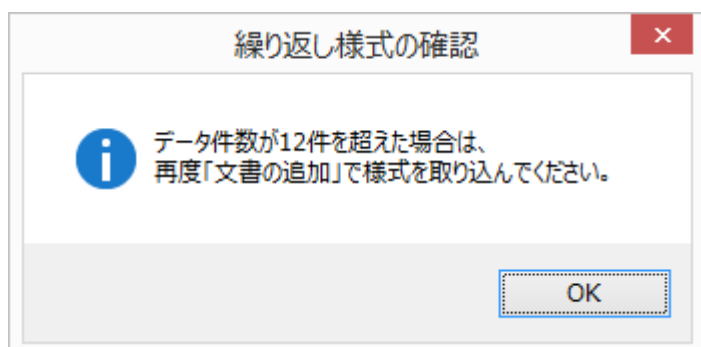
「1. 工事概要」を選択後、「連動」ボタンの「積算取り込み」の「積算取り込み(名称)」を選択します。



「はい」を選択。

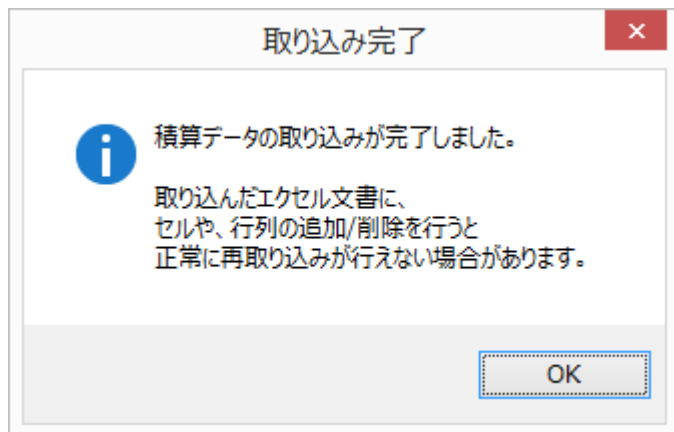


「施工管理計画」の取り込まれた内容を確認。



6. 文書管理

【工種ツリーの活用編】 4 / 5



「はい」を選択。

「OK」を選択。